



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2017年10月8(日) 9:30~12:00(晴)

参加者 一般:2名(うち子ども0名)

指導員:6名

テーマ 「木や草の実を観察しよう」

秋はみどりの季節です。これまで花を見てきた植物がどんな実をつけているか見て回ることとしました。もうひとつは、この時機によく見られるアカトンボの仲間をしっかりと観察することです。

河原におりると、アカメガシワの木にネナシカズラがからんで、花と実をつけていました。先月まで堤防の道路脇にあった黄色い色をした細い蔓のアメリカネナシカズラと比べると蔓が太く丈夫そうです。蔓がアカメガシワの枝にくいこんでいて、ここに寄生しているのか単なる締め付けなのか話題になりました。

テーマとなっている実では、食べられそうなもの—ハナミズキ、アケビ、ハマナス、エノキ、ムクノキ、スズメウリ、コムラサキシキブ、サンシュユ、ガマズミ—はちょっと味覚を使って観察してみました。初めて食べるという参加者もいて、おっかなびっくり口にしました。アケビやムクノキは好評でしたが、ハナミズキやサンシュユは渋味や苦味、酸味があり不評でした。

よく似た植物の形状も比べてみました。穂が似ているススキとオギをルーペでじっくり見て、また、コセンダングサとコバノセンダングサの花と葉を見て、違いを確認しました。

昆虫はエノキの葉にいたゴマダラチョウの幼虫、アカメガシワの葉にいたアオマツムシを見ることができました。アカトンボはマユタテアカネとリスアカネを捕まえ、翅の斑紋や胸部の模様を比べてみました。アキアカネも数は多くないものの山地からおりてきているはずですが、捕獲して見ることはできませんでした。高い枝先にいたものがアキアカネあるいはナツアカネと思われます。園内で渡りの途中のアサギマダラを見たという話を聞いて気をつけていましたが、終りがけに138タワー近くでアサギマダラの姿を見ることができ、秋らしい観察会となりました。(報告:齋竹)



(おいしいと好評だったムクノキの実)

<その他観察できたもの>

実: タイサンボク、ノブドウ、ツルウメモドキ、ヌルデ、マテバシイ、フキカンゾウ、アレチヌスビトハギ

花: キダチコンギク、ブタナ、カワラナハコ

虫: キタキチョウ、モンシロチョウ、ツマグロヒョウモン(幼虫も)、ルリタテハ、ヒメアカタテハ、ヒメウラナミジャノメ、ウラナミシジミ、ムラサキシジミ、ヤマトシジミ、イチモンジセセリ、チャバネセセリ、マダラミスノメイガ(幼虫)、フタトガリアオイガ(幼虫)、ウスバキトンボ、オニヤンマ、オオアオイトトンボ、アオドウガネ、コアオハナムグリ、セイヨウミツバチ、クマバチ、タイワンタケクマバチ、キンケハラナガツチバチ、クルマバッターモドキ、セスジツユムシ、サトクダマキモドキ、ハラビロカマキリ、ツマグロスケバ

鳥: モズ、キジバト、ヒヨドリ、ムクソリ、シジュウカラ、エナガ



(コバノセンダングサ)



(マユタテアカネ)



(観察会のようす)